



生徒と創る学びの情景

ここからが“始まり”

東京都・私立錦城高校 石井 智先生



2024年度、担任も授業も受け持ったことがなかった学年の3年次の担任となった石井先生。「担任として目指すべきことは、クラス全員の希望進路の実現。第1志望校に合格しなかったとしても、生徒自身が納得する進路に進んでほしい」と、力を尽くしてきた。「なぜその大学、学部を選んだの？ 大学合格はゴールじゃないよ」と常に生徒に問いかけ、面談を重ねて、希望進路や学習状況を綿密に把握。全国の大学の入試科目や配点比率などを調べ、生徒が夢の実現に近づくことができる大学を提示し、将来への視野を広げられるように支援した。

夏季休業前の3者面談は、生徒が自分の受験校を3パターン考え、志望校合格に向けた学習計画を保護者に発表する場とした。「将来の夢をかなえる複数の方法を準備させてくれたのが石井先生でした。目標を明確にできたおかげで、入試直前に心が折れそうになった時も踏ん張れました」と、生徒は振り返る。

卒業式を控え、1年生が3年生へのはなむけに描いた教室の黒板アートの中に、石井先生はこうメッセージを記した。「卒業式は何かの終わりではなく、“始まり”です。自分が歩む道が“正解”になるよう、心を燃やして頑張れ！」。

いしい・まさる 同校に赴任して21年目。地理歴史・公民科(世界史)。3学年担任。進路指導部。
東京都・私立錦城高校 1963(昭和38)年設立/全日制/普通科/共学/1学年約500人/
2024年度卒業生進路実績 国公立大は、北海道大、筑波大、お茶の水女子大、東京科学大、一橋大、
京都大などに80人が合格。私立大は、慶應義塾大、上智大、早稲田大などに延べ1,124人が合格。

※プロフィールは、2025年3月時点のものです。